

令和6年度第10回（1月）宇検村農業委員会定例総会 議事録

日 時 令和7年1月24日（金）午前9時から

場 所 活性化センター「結いの館」

出席した委員 6名

2. 保池委員 3. 坂井委員 4. 時田委員 5. 前田委員

6. 森委員 8. 石原委員（会長）

欠席した委員

1. 渡委員 7. 重野委員

出席した職員

推進員1名（新元）、事務局3名（産業振興課 柳、古島、桑野）

議事概要

- | | |
|--------------|---|
| 1 議事録署名委員の選出 | 委員6・委員2を指名 |
| 2 会期の決定 | 令和7年1月24日（金）の1日間に決定 |
| 3 諸般の報告 | なし |
| 4 協議事項 | なし |
| 5 その他 | (1) 鳥獣害対策事業について（周知）
(2) 研修について（周知）
(3) 地域計画について（確認）
(4) パトロールについて（周知）
(5) 次回定例総会の日程について（周知） |

議事詳細

3 諸般の報告

なし

4 協議事項

なし

5 その他

連絡事項等

(1) 鳥獣害対策事業について

事務局 先月の定例総会で皆さんから鳥獣被害が多いとの声がありました。事業や補助がありませんかと色々話が出ましたので、役場の農政で事業を調べました。何回かこう

いう集まりの場で話していたとは思っていたんですよ。補助事業で猪防護柵を入れて、耐用年数が14年というのは聞いた事があると思うんです。県の中山間事業、環境整備事業、農政の鳥獣対策事業と、3種類ぐらい事業があるんですが、今、耐用年数が過ぎている場所を先に、事業での対策が可能ですよというお知らせをしたいと思います。地図で、ここが今年というのを分かるように調整しております。それがはっきり分かり次第、今までは山や川の縁の方に、外から入ってくるのを防ぐために防護柵の設置をしてきましたので、今後は畑の中の方に、樹園地を囲んだりとか畑を囲うスタイルでやっていきたいと、産業振興課の方では話をしております。しばらくお待ちいただけたらと思います。

(2) 研修について

事務局 財政には（任期の）初年度で出来ないかと言われましたが、初年度はまだ（委員の）仕事分からないので2年目がいいとのご意見がありました。今期は3年目の7年度、次期改選以降は2年目、8年度に改選があつて9年度でという風に話をしたいと思っております。次期は10月、秋の方が皆さん仕事がゆとりが出来るという事ですので、その頃に設定したいと、しっかり伝えたいと思います。

(3) 地域計画について

農政担当 去年、農地の利用状況調査をしてもらって、これを地図化しました。それをもとに地域計画の策定を進めています。計画の中で話し合いがあり、先日は宇検に行ってきました。地域計画は4校区で分けて作っています。農地だけの計画なんですけど、農地の利用がそれぞれ違って、宇検の方で入っている集落付近の基盤整備、農地を再生整備した後どう使っていくか、という話をしています。阿室地区は元気の出る公社が入っています。田検校区に関しては使われている農地が多いので、貸し借りもしくは農地を守って行くありかたを進めて、3月15日をめどに公告へとなっています。

話し合いの中で、農地がいない人の所を切ったり貼ったりするような事は、馴染まないという事がありました。大島本島、笠利は別だと思ってしまうんですけど、ほぼ調査した現況の地図が今の段階では目標の地図とするという事になっています。ですが、宇検の校区に関しては、すでに公社が開けてある場所、それから遊休地解消で真剣に話し合いたいという所に関して、また変わってきます。地図を作っていて、こうしたデジタルの地図に変えて行くんですけど、農地サポートシステムのタブレットの耕作状況調査、これも地図に反映できるように今仕込んでいます。国が提示しているきれいな区画表示が少ないので、データを送って、埋め込む作業が出来ないかと連絡をしています。渡したデータが正しいのであれば、随時更新して行くという返事をもらっています。まずタブレットの練習がてら、慣れていただくというのも1つの目標になっています。地域の農地をどう生かしていくかという話し合いに、積極的に入って行きたいと思っています。文書で流して集まってもらう、皆を集める作業が大変ですが、幸い宇検では活発な意見が聞けたので良かったと思っています。その中でも、ヒヨドリの被害とか、お困りの事についても出てくるので、そういった情報も拾って行きたいと思っています。またよろしくお願いします。

スケジュールとして、名柄は水土里サークルで活動する若い人達とか、説明を受けたいという風に来ていますので、日にちを決めている所です。

事務局 地域計画の方で現況を目標とするという形で、今後10年やっていくという話なんですけど、その中で農地を守って行くというのはやはり大事、農業委員会としても使命で、やらないといけない事だと思います。よろしくお願ひしたいと思ひます。先ほどタブレットの話もあったんですが、なかなか実際に利用しておりません。我々も勉強不足で触っていなかったというので。地域計画はこれが完成版ではなく、今がスタートです。これを後々、毎年変えて行って、さらに精度の高い計画、未来に向かって作っていける計画という形になると思ひます。最初でがちゃとした形を作るのではなく、今のやつを目標で取り組んでおりますので、どうかよろしくお願ひしたいと思ひます。

農政担当 計画って言うとかっちり決まったような気がしてしまうんですけど、地域計画という名の話し合い活動と理解していただければ。先行して作られている鹿児島市は、耕作者が変わったりとか、そういった理由ですでに3回も更新しています。お役所仕事で固く感じるんですけど。耕作者の名前は伏せるようになっています。面積はデータから引っ張って来たものになっています。

委員5 今の宇検村の現況としては現状維持、高齢化してほとんど衰退に向かっている状況だと思うんですけど、何を目標にして計画を。言っているのも分かるんですけど、何を作って何で収入を上げるのか。そういうのを農業委員会だけではなくて、農協、農業者に呼び掛けて、話し合いを1度は持った方がいいんじゃないかなと思う。農業委員の話はここで止まるんですよ。もうちょっと一般の人のために、3年に1ぺん位でもいいから声掛けをして、話し合いをする場を持ってもいいんじゃないかと思う。現状を見ていて。

農政担当 議会からの要望もあり、農家巡回が足りないと。農業の大小にかかわらず、役場が敷居が高いものじゃなくて、もっと役場側が来てくれる事はないかという事で、毎週火曜日を基準日にして巡回をしています。週4回るので80人、年間千人くらいは回りたいと思っているんですけど、今こっちの方で停滞しています。あくまで計画の方は先ほど言った話し合いなので、ちょっと話そうよ、という所の場を、ちょっと集まった所に呼んでくだされば。農家巡回をして集落に入った時も、毎週火曜日は巡回で回りますから声を掛けてくだされば畑に伺いますとやっているの。計画自体も2年に1回、暇な時期か、夕方じゃなくても昼間の時間帯でも結構なので、不定期である程度集まるという習慣を作りたいと思ひます。

正直な所、農家巡回を始めて、施策の話、役場の話をする時に、知らない者が行って突然地域計画と言っても伝わらない。足繁く通って行きたいと思ひます。ちょっと分からないという所は呼んでもらいたい。人が集まる所には出向いて行きたいという所です。

委員5 何回か声掛けをしてもらって話し合いを持ちましたよね。だけど会話がありきたりなもので、役場の聞きたい事は分かるんですけど、農業に力を入れている人、

稼ごうとする人、話がなかなか盛り上がらない。ただ一般の座談会みたいな形になる。集まる時は各集落の区長さんに放送してもらって、僕らが集まってもらえませんかと言っても、あの曜日、あの時間帯はだめだという人がほとんど。役場の方で集める時は集落で放送して何月何日何曜日の何時に公民館まで集まっていただけですかというようにした方が、私は聞いてないとか言う人が出てこないように、役場で日時を決めてもらって放送を入れてもらう方が、いいんじゃないか。放送は区長さんにお願いすれば済む事だから。僕らが声掛けしたら、頑張っている人だけ声掛けしてしまう。家庭菜園だけやっている人、後で聞いてないという人が出てくるので。呼び掛けをして、どれ位の人間が農業に興味があるのか。それもデータの1つじゃないですか。

事務局長 委員5さんは放送は出来ないですか。

委員5 言ってくれば段取りは出来ます。各集落に声掛けすればいいんじゃないですか。段取りも大変でしょう。

農政担当 大島支庁とのやりとりの中で、楽しく人が集まるような場を作れと。それが出来ないのは地域との関係性じゃないの、と。農業に向き合う事も大切ですね。どういう呼び掛けをしたら集まれるか、探りたいと思います。

委員5 皆同じような考えだと思うんだけど。

農政担当 宇検では30分話し合いになりました。実質には農地の向き合い方は半分ぐらいになってしまったんですけど、農業用水とか、ヒヨドリが掛かって困るとか、雑談形式になってしまうので。それはそれで情報として課内で共有したい事だと思います。

会長 絶対ありえる事で。それだけに集中してみんな話すわけじゃないし、自分なんかの不満があればそれも出すはずだから。

委員5 レベルももうちょっと上げて行かないと。ヒヨドリが掛かるのは網掛けたら当たり前、そういうレベルも話し合いの中でちょっとずつ上げて行かないと、話をしても盛り上がらない、面白くないから行かない、という方向になって行く。話の持って行き方。

会長 そういう話もしながら上げて行けばいい。

委員5 そういう話は論外みたいな、農業する人は当たり前って思っているんだから。何々を話すとか、ある程度提示してもらわないと。どうしても座談会になってくだらない内容になる。

会長 年取った人はだいたい、ある程度要望にしたいから。

委員5 要望がメインになってくるから。最終的には猪糞になる。

会長 それもしながら上げて行けば。

委員5 座談会する前に内容がだいたい把握できる。それからもう1歩前に進んだ話し合

いに持っていけないと。地域によって農業のやり方の違うので、平田、崎原地区は潮風が強くて作物が育たない。たんかんは山の奥じゃないとだめ。道路付近はサトウキビしかだめ。サトウキビ農家が増えるかと言うと、現状維持がいっぱいいっぱい。だから潮風がある所は何をするか、そういう問題なんかもあるし、僕は潮風あたる所でドラゴンフルーツの大きい畑を作っている。平田はドラゴンフルーツ最高だと思う。砂で水はけがいい、潮風でも全然大丈夫。作物は何を作ったらいいか、資料を配ったりしたらいいんじゃないか。

農政担当 話し合いを増やす。地域計画という名の話し合いであって、優先事項は農地の維持、守って行くっていう事なので、それに付随した話し合いの質を上げるための練習の場っていう捉え方で、全体の合意を今日いただければ。

委員5 分かりました。

農政担当 それでは、よろしくお願いします・

会長 平田なんかはちょうど、海に近い所は何を植える、それを決めて行けば。

委員3 芦検の場合は野菜を作っている人がいない。前 a さんが各集落を回って野菜を作る勉強会をしたけどほとんど来ないから、集落によって違う。平田あたりはまあまあ盛んだけど、せっかく行政から回ってきてても人が集まらなければ何のために来たのというぐらい。70代の連中は日中草刈り、農作業していないんですよ。だからある時来ても誰も来ないんですよ。集落集落に合わせた対応を。野菜作る人がいないからケンムンの館に出す人もいない。今まで出していた人はだいたい80代になって、野菜作る人がいない。

委員5 野菜作る人はもう年配の方でもないんじゃないかな。後は去年、前年とで台風でやめた人も多い。ほとんど高齢でやめているからね。

農政担当 そういった地域の事情が違うという事で、地域計画は4つ、それぞれで分けてます。集落ごとにそういう話も伺いますので。もう1つ、まだ決まっていないんですけど、野菜をもうちょっと盛り上げようという事で、大島支庁がケンムンの館以外でも地場野菜の栽培講習とか、自分達の巡回に合わせて組めないかと計画している所です。どの野菜をどの時期に作るっていう所まで話し込んでいないので、決まりましたらご連絡致します。

委員5 そういう話し合いには自分が興味がないと行かないから、ただ野菜をするんだったら年寄りの3~4人ぐらいで。普通の人は野菜作っていないんで。3~4人でどこまで話が進むかとか、規模が小さいので。

委員6 名柄は専属で農業しているのが2人ぐらい。後はたんかんを植えて荒らさないようにしているだけ。野菜作りしているのは家の周りにわずかに作っている状況です。bさんが今やる気を出してやっていますけど、野菜作る方が少なくなっている。

委員5 名柄は水土里サークルはあるの。

- 委員 6 ない。
- 事務局 今年度から名柄・佐念地区として活動しています。
- 委員 5 水土里サークルは助かる。
- 会長 あれ自体が全体的なものに変わっただけでしょ。
- 事務局長 組織的には村、それぞれの（地区の）団体で作業をする。
- 委員 5 今年から水土里サークルの担当をさせてもらうんだけど、年間の予算の限度があるでしょ。
- 事務局 資料の引き渡しはなかったでしょうか。最初集落で年間の予算をお知らせしています。
- 推進員 年間の金額があるんだけど、足りなかったらやっていない所から出すような。
- 事務局 それは残っていたらの話なので。他の所が使い切らないのであれば。
- 事務局長 面積で金額を決めているので、地区でだいたいこれくらいの予算というのはあって、それを今回は使い切らないという時は、もっとしたい所に回す事は出来る。
- 事務局 使い切らなかった所が使っていいよとなった時に他の所に補填というだけなので、自動的に超えたから他の所から出せるわけではないです。
- 委員 5 自分の畑の周りは自分で管理する、ある程度自分でやってほしい。そういう（自分の畑の周りをやってほしいと言う）話が最近ものすごく多い。自分の向かいはしないとか、そういうのが多い。一度集落で話したいと思うんだけど。昔は自分の周りはきれいに薙いだけど、最近は畑の中だけ、周りはない。そういう考えから変えて行かないと。これから人間は少なくなって、高齢化はしてくる。空地も多い。耕作放棄地も多い。管理をしないと、自分の畑に行く時に車がこすれると、そういう状態がずっと続いているので。
こういうのは集落で集まったらする事で、ここで話す事じゃない。
- 推進員 高所作業車を借りられるかどうか、そういう話で。高枝を伐るのに。
- 委員 5 サトウキビの所は車の上からで伐れる。なくても伐れる。
- 会長 自分の周りは自分です。それが当たり前。そのそばにある道路が邪魔になる時は水土里サークル。高所作業車を借りてもらって、自分でする形。
- 委員 5 堆肥センターがだめっていう時は、役場をお願いする事もあると思います。

（４）パトロールについて

前回農政から依頼のあった農地の水はけ調査で、排水の悪い箇所として報告のあった箇所を巡回。

委員 5 調査票に書いたのは耕作放棄地状態の畑なんですよ。使っているのは農家の努力である程度なっているんですけど。書いたのは使えない事はないけど水はけの悪い場所しか書いていませんが、いいですか。

事務局 使っている所も、いない所も対象です。

会長 使っていない所も、水はけを管理すれば借りる人がいるかもしれない。耕作できる状態に持ってこれれば一番いい。

(5) 次回定例総会の開催について

2月25日（火）を予定。

以上をもって令和6年度第10回定例総会を閉会した。